

授業改善推進プラン<音楽科>

音楽科における昨年度の授業改善推進プランの検証

成 果	課 題
<p>〈知識及び技能〉</p> <p>○歌唱活動では、曲に合った発声の仕方を身に付けて歌うことができる児童が増えた。</p> <p>○合奏では、友達と演奏を聴き合い、気付いたことを言語化して共有することで、互いに技能を高め合っている。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <p>○スクールタクトを活用することで、発言が苦手な児童も意見を記述し、表現することができた。</p> <p>○音楽づくりでは、何度も修正し試行錯誤しながらつくすることで、様々な思考を働かせて取り組む児童が多かった。</p> <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <p>○音楽に関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる児童が多い。</p> <p>○歌唱では、教師の範唱を聴いて歌い方を工夫したり、歌詞の意味を考えたりしながら、積極的に声を出して歌っている児童が多い。</p> <p>○器楽の活動では、友達の演奏している音を聴きながら、合わせて演奏しようとしている。</p> <p>○音楽づくりでは、班の友達と話し合い、ひとつの音楽をつくりあげる活動に意欲的に取り組んでいる。</p>	<p>〈知識及び技能〉</p> <p>●歌唱活動において、男子が声変わりによってうまく出せなかったり、自信がもてないため、声を出さない児童がいたりする。</p> <p>●ピアノを習っているかなどの影響で、音楽の知識や鍵盤楽器の技能の差が大きい。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <p>●特に高学年になると、苦手意識を強くもっていたり、知識の差が大きかったりするため、鑑賞や音楽づくりで考えが停まってしまっている児童がいる。</p> <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <p>●自分の考えを発言する児童が固定されてしまい、その他の児童は発言に消極的である。</p> <p>●約3年に渡ってコロナ禍の影響を受け、リコーダーの練習時間を十分に取ることができず、曲を完成させる達成感を味わわせることができていないため、リコーダーを演奏することに対する意欲が下がっている。</p>

<音楽科の授業改善策>

<p>〈知識及び技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生では、混声3部合唱に挑戦させることで、中学の合唱へとつなげる。 ・一斉指導は苦手な児童に合わせた指導を行い、基礎的な技能を高める。 <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考が進まない児童に対しては個別指導を行い、言葉でやり取りをする中で考えを見取っていく。 <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペア活動を多く取り入れた上で活動の人数を徐々に増やしていくことで、グループで活動することに慣れさせ、主体的に授業に参加できるようにする。 ・リコーダーを美しい音色で吹けるように指導しながら、児童が聴き馴染みのある曲に挑戦させることで意欲を高める。 ・学習成果を発表する機会を設けることで、本番に向かって努力することの大切さを身に付け、達成感を味わうことができるようにする。
--

